

日本の春は、この町の野焼きから。

阿蘇郡一の宮町

町の中心にある阿蘇神社には、昔阿蘇谷が湖であった当時、湖水の水を切って落し、美田を開いたといえらるる健甕龍命が祭られています。これは、この土地が古くから阿蘇谷の中心地であったことを示しています。

北には、「国造神社」境内に、樹齢二千年という天然記念物「手野の大杉」、南には、ミヤマキリシマの名所・仙酔峡と、天然の観光資源に恵まれた所でもあります。



毎年、三月には、「火振り」で有名な春祭りが阿蘇神社で開かれます。町をぐるっと囲む広大な原野では、害虫を駆除するための野焼きが古くから人々の生活行事として行われてきました。昨年からは、各地でバラバラに行われていたこの行事を「阿蘇の火まつり」と銘打って一つにまとめ日本列島に春を告げる一大イベントに仕立て上げました。阿蘇の広大な原野に繰り広げられるこの野焼きは、奈良の若草山の野焼きや京都の大字焼きをはるかに越えるスケールを誇っています。

祭りが終ると、原野には草花が芽吹き、やがて、ワラビ狩りやハイキングの人たちで賑います。あなたも、ぜひ、春の一の宮町を訪ねてみてください。

●お問い合わせは、一の宮町役場
☎0967-21-3111(入)

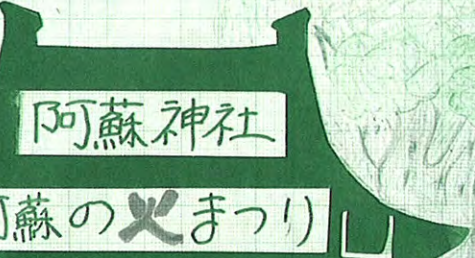


この新聞を制作した一の宮町立宮地小学校新聞クラブのみなさん

宮一の里の炎と神話



毎年、五月の下旬に、阿蘇神社の境内で、阿蘇の火まつりが行われます。



阿蘇神社祭神の婚に祝う火振り神事は毎年三月の中旬に行われます。参道に集まった人々は、神をまつるために火をつけて振り回します。その火の輪は幻想的で、見事な神事です。阿蘇にはおそい春がやってきます。

火振り神事

阿蘇神社祭神の婚に祝う火振り神事は毎年三月の中旬に行われます。参道に集まった人々は、神をまつるために火をつけて振り回します。その火の輪は幻想的で、見事な神事です。阿蘇にはおそい春がやってきます。

今年の火振りは3月17日(月)に行われます。

高さ150メートルの滝は、男滝女滝の滝の滝と呼ばれています。十一月ごろから、厚い氷がはりつめ、凍結した滝は、まさに氷の芸術です。三月ごろから、氷が溶け、阿蘇にも春があとすれ

古閑の滝

阿蘇の民芸品、とうきび人形。とうきび人形とは、とうきびのしんや皮(茶色いも)などで作られた人形です。昔は子どものおもちゃとして、阿蘇民芸品の人が今のすばらしいとうきび人形として作られています。昔の単なる人形をヒントとして、作られているので、とうきび人形は昔から伝えられてきた伝統工芸品といえます。



一の宮町の主な産物

一の宮町の主な産物といえば、阿蘇たかな漬! 一の宮にも工場がいくつかあるし、ほとんどの家でつけています。そのたかなで、たかなめしもつくっておいしいんですよ! たかなめしは、たかなめしにもおいしいんですよ! 一度食べに来て下さい。

阿蘇の地名のおこり。九州の各地の豪族が、熊本の阿蘇郡に入りました。阿蘇郡の各地の豪族が、熊本の阿蘇郡に入りました。阿蘇郡の各地の豪族が、熊本の阿蘇郡に入りました。

阿蘇の地名のおこり

阿蘇の地名のおこり。九州の各地の豪族が、熊本の阿蘇郡に入りました。阿蘇郡の各地の豪族が、熊本の阿蘇郡に入りました。阿蘇郡の各地の豪族が、熊本の阿蘇郡に入りました。

学校紹介

私達の宮地小学校は、一の宮の中心にあります。すぐ近くには阿蘇神社があります。学校からは、阿蘇の五岳をまじかに見ることが出来ます。児童数約520名、学校には、いろいろなクラブがあります。